

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2020/1/20

■ID: C19256

- 参加プログラム/Program: AUA Design Thinking for Urban Challenges
- プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-DTUC.html>
- 派遣先大学/Host university: ソウル大学校
- プログラム期間/Program period: 2020/1/11~2020/1/19
- 東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 農学部
- 学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 4 年

<p>■参加にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to participate:</p> <p>卒論提出や発表と被らない時期だったため。</p>
<p>■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:</p> <p>社会人になる前に留学に行きたいという思いが強くあり、ただし卒論や部活があるためなかなか見つけることはできなかった矢先に、募集を Facebook で見かけ、参加しようと決めました。また元々韓国の文化が好きであったので、絶対に行きたいと思いました。</p>

プログラムについて/About the program you participated in

<p>■概要/Overview:</p> <p>予習・復習は特に必要ありませんでした。ソウル大学にいらっしゃる先生方からテーマであるスマートシティやビッグデータに関する講義をしていただきました。また最終日にはスマートシティ・ビッグデータに関するプレゼンを行いました。</p>
<p>■学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:</p> <p>文化活動, 企業訪問</p>
<p>■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research:</p> <p>サムスンや SK などの最先端技術開発に取り組んでいる韓国の会社に訪問し、実際に VR や商品を手にして技術の体験をしました。</p>
<p>■週末の過ごし方/How did you spend your weekends?:</p> <p>SM タウン(KPOP の展示がされているビル)やスケートリンク、飲み屋などに連れて行っていただきました。</p>

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

<p>■設備/Facilities:</p> <p>講義を行う教室は、ソウル大の国際交流課のレクチャーホールでした。東大の eduroam が利用できたので、渡航前に登録しているといいと思います。食堂は、レクチャーホールから歩いて 10 分のところにあり、メニューは①ベジタリアン②ハラール③日替わりの 3 種類でした。</p>
--

■ サポート体制/Support for students :

ソウル大学の学生や先生が常に行動を共にしてくださり、生活面・精神面で安心でした。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :

学生寮

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :

ソウル大学側が準備してくださいました。毎日ベッドメイキングがされ、ホテルのように清潔感がある部屋でした。またアメニティも完備されていました。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climature, environment around the institution, transportation, food, etc. :

渡航時期が1月半ばだったので、かなり寒かったです。ダウンジャケットを着ていくべきだと思います。大学周辺は何もなく、街まで15分ほど歩く必要がありました。交通機関は、バス・電車が主です。運賃は日本より比較的安価でした。食事は非常に美味しかったです。ただ、日本人には辛すぎるものもあるので注意が必要でした。

■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

2万円を仁川空港で両替して使用しました。また、電車やバスはTマネーという現地のICカードを使用しました。これはあらかじめAUAから5千円チャージされたものを支給されました。

■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安は日本と同様で良く、特に懸念点はありませんでした。心身の健康管理については、よく食べてよく寝るようにしていました。

■ 自由時間に利用した交通手段/Means of transportation in your free time :

タクシー, 列車, バス

■ プログラム期間中に利用したネット環境/Internet service usage during the program :

キャンパス Wifi

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■ プログラムへの参加手続き/Procedures for participation :

・AUA プログラムの応募シート、ビッグデータへの関心についてなど(英語で)・本部国際交流課への応募シート(日本語で)テーマに関心が強くあり、また開催国がとても好きであることを多く書きました。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

ビザは申請していません。

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

常備薬を多めに持って行きました。

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

大学指定の保険に加入しました。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

海外渡航手続書の提出、単位認定の申請をしました。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

元々韓国の文化が好きであったこともあり、韓国語は少し話せる程度でした。日本人参加者は2人であったため、英語を話せないと他の学生とコミュニケーションが取れないので、ある程度勉強する必要があると思います。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation:

航空費	0 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	4,390 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY

■その他、補足等/Additional comments:

航空運賃については、マイルを使用したためお金がかかりませんでした。

■留学先で費やした生活費/Overall expenses spent during the program:

家賃	0 円/JPY
食費	0 円/JPY
交通費	0 円/JPY
娯楽費	20,000 円/JPY

■その他、補足等/Additional comments:

宿泊費・交通費・食費は全て支給されました。娯楽費は、人によりますが私はお土産などをたくさん購入したので、多い方だと思います。

■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate:

受給しなかった。

■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships:

■受給金額(月額)/Monthly stipend:

■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend:

■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships?:

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts:

元々韓国語を少し勉強をしていたため、自分の語学力がどこまで生かせるかを知ることができ、今後とも

っと勉強したいと思えるようになった。日本人参加者は少なく、英語で常にコミュニケーションをとりながら、プログラムの日々を送るので英語力やコミュニケーション能力は少しばかり上がったのではないと思う。また価値観や文化の異なる国の学生と友達になることができ、彼らが今何を頑張っているか、将来は何をしたいかを一緒に話すことができとても刺激をもらった。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :

就職先は決まっているので、少しでも海外で働ける部署に行けたらと思った。

■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):

公的機関

■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

短期プログラムは名前の通り、短く一瞬で過ぎてしまうので、1日1日を大切に、積極的に、なるべくたくさん学生の学生と話せるように、参加をしてください！

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

・グローバルキャンパスの留学報告書・SNSなどで渡航先で行きたいところを調べてまとめていました。



報告書

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from a week to 3 months)

記入日/Date: 2020/1/26

■ID:C19257

- 参加プログラム/Program: AUA Design Thinking for Urban Challenges
- プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-DTUC.html>
- 派遣先大学/Host university: ソウル大学校
- プログラム期間/Program period: 2020/1/11~2020/1/19
- 東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時)/Year at the time of Study Abroad: 学部 2 年

■参加にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to participate:
テスト休み期間中で、授業と重なっていなかったため。
■参加を決めるまでの経緯/How and why did you decide to participate?:
授業と被っていなかったこと、テーマが自分の興味分野とかなり重なっていたこともあり、本プログラムへの参加を通してビッグデータ・AI の活用に関して知見を深められたらと、Go Global ウェブサイトで告知が出されて比較的すぐ参加を決めました。

プログラムについて/About the program you participated in

■概要/Overview:
プログラム初日には、各参加者の出身都市の紹介と各々お都市が抱えている社会問題についてのプレゼンがありました。参加者の出身地は東アジアから東南アジア、中央アジア、西アジアと多岐にわたっていましたが、共通して交通渋滞を問題として取り上げていた点が興味深かったです。本プログラムのテーマがビッグデータ、AI のスマートシティにおける活用だったこともあり、午前中に関連する内容の授業を受け、午後テーマに関連した事業に取り組んでいる企業への訪問するという流れでした。また、最終日にはグループごとにビッグデータ・AI を活用した事業もしくはスマートシティのあり方をテーマにプレゼンテーションがありました。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:
スポーツ
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research:
プログラム内でソウル市内のスケートリンクを訪れる機会がありました。
■週末の過ごし方/How did you spend your weekends?:
N ソウルタワーを訪れたり、スケートしたり、弘大へ行き食べ歩きしたりしました。週末ではありませんでしたが、午後自由時間だった日には、ロッテワールドというテーマパークへも行きました。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■設備/Facilities :

ホテルから歩いて 30 分くらいのところにかなり大きな図書館が、ホテルのすぐ近くにはジムがあり、ホテルから少し歩いたところに陸上競技場・サッカーフィールド・テニスコートがありましたが、プログラム期間中は基本的には利用しませんでした。プログラム期間中の昼食は講義室の近くの食堂を毎日利用していました。通常セット、ベジタリアン向けのbuffet、ハラルの中から選ぶ形3つのうちから選ぶ形です。どれも日替わりだったので、その日その日で気に入ったものを選んでいました。大学内の施設は基本的に Wifi が整っており、大学内では基本的にインターネット環境で困ることはありませんでした。eduroam(どの大学でも基本的に利用できるローミングサービス)に事前に登録しておくことより便利かもしれません。

■サポート体制/Support for students :

本プログラム統括しているソウル大学の担当者の方が基本的に同行しており、充実していたと思います。ホテルのフロントサービスも夜間でも対応していただきました。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■宿泊先の種類/Type of accommodation :

学生寮

■宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :

ソウル大学が手配してくれたキャンパス内のホテルで宿泊しました。各国からの参加者とルームシェアする形で、僕はタイのチュロンコン大学から参加した学生と香港の香港科技大学から参加した学生と同室でした。アメニティを基本的に揃っており、苦勞することは特にありませんでした。(ホテルで通常想定されるベッドがすでにセッティングされている部屋ではなく、床に布団を敷くタイプの和式の部屋だったので、ルームメイトはかなり驚いていました。)

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :

<気候>同時期の東京の気温に比べて、さらに1段階冷え込んだイメージで、毎朝0度を下回っていた上に日中もそこまで気温が上がらず、日本で同時期に来ていた服装で臨んだため寒さにはかなり苦勞しました。厚めのコートを持ってくればよかったと後悔しました。<大学周辺>山一帯がキャンパスになっており、とてつもなく広いです。ホテルから講義室まで移動する時も基本的にはバス移動でした。一度、降りる場所を間違えてしまったことがあったのですが、広い上に起伏があるのでホテルまで戻るのがかなり大変でした。<交通機関>大学から最寄りの駅まで歩いて 30 分くらいのところにあり、基本的にソウル市内へ出かけるときは大学から駅までバスで移動し、そこから電車で乗り継いで行くことが多かった覚えがあります。夜遅くなった時はタクシーを利用したりもしましたがソウル大学の学生がついていてくれたので、基本的には問題ありませんでした。

■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

ウォンを使いました。最初空港に着いた時に 1 万円分を両替し、随時足りなくなったら両替していく予定だったのですが、食事は基本的にプログラム内で用意されており、加えて交通費に関してもプログラム初めに 50,000 ウォン(約 5,000 円)が入った電子マネー(PASMO のような電車・バス等で主に利用できる)が支給されていたので、途中でさらに 5,000 円分を両替しましたがほぼ 1 万円で足りた覚えがあります。物価は日本とほぼ同じか少し安いかな、くらいのイメージです。

■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

特に心配を要するようなことはありませんでした。ただし、かなり冷え込んだので風邪はひかないように気をつけました。

■自由時間に利用した交通手段/Means of transportation in your free time :

タクシー, 列車, バス

■プログラム期間中に利用したネット環境/Internet service usage during the program :

キャンパス Wifi

参加前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before participation

■プログラムへの参加手続き/Procedures for participation :

UTAS 上で海外派遣の申請をし、参加が決まった後はソウル大学から提出を要求された書類を随時提出しました。

■ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

9 日間の滞在だったので、必要ありませんでした。

■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

特に行いませんでした。

■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

大学から指定された、学研災付帯海外留学保険に加入しました。

■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

留意事項確認書の提出にあたって、前期課程教務課で本プログラムに参加する上での注意事項について説明を受けました。

■語学関係の準備/Language preparation :

IELTS 6.5 コミュニケーションに関して若干の不安がありましたが、テスト休み期間での参加だったため、期末テスト対策に追われ、ほとんどできませんでした。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費	56,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	0 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	5,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学先で費やした生活費/Overall expenses spent during the program :

家賃	0 円/JPY
食費	2,000 円/JPY

交通費	0 円/JPY
娯楽費	10,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
プログラム期間中の、食事、交通費等は基本的にプログラム側から支給されており、必要ありませんでした。	

■プログラム参加のための奨学金の受給有無/Scholarships to participate :
受給しなかった。
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :
■受給金額(月額)/Monthly stipend :
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :

プログラムを振り返って/Reflection

■プログラムに参加したことの意義、その他所感/Impact of the participation on yourself or your thoughts :
ビッグデータ・AI の活用に関して知見を深める点においては、それらを扱っている各企業への訪問を通して想像を膨らませることができたという点において、ある程度と達成することができたのかなと思います。アジア各国から優秀な学生が集まっており、彼らと 9 日間密に交流したことで自分自身かなり、視野が広がったのを感じました。母語、英語に加えて第 2 外国語をさらには第 3 外国語まで自由に扱える参加者も多数いて、英語で苦労している場合ではないととても刺激になりました。日本出身であることを話すと必ずと言って良いほど、好きなアニメの話をしてくれます。アニメの影響に驚くと同時に、自国の文化を自分の中で相対化して捉え直すきっかけになったと思います。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
一度もう少し長期にわたって留学してみたいと思うようになりました。
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
研究職, 民間企業
■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
迷っているのであれば、ぜひ参加することをお勧めします。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
Go Global ウェブサイト